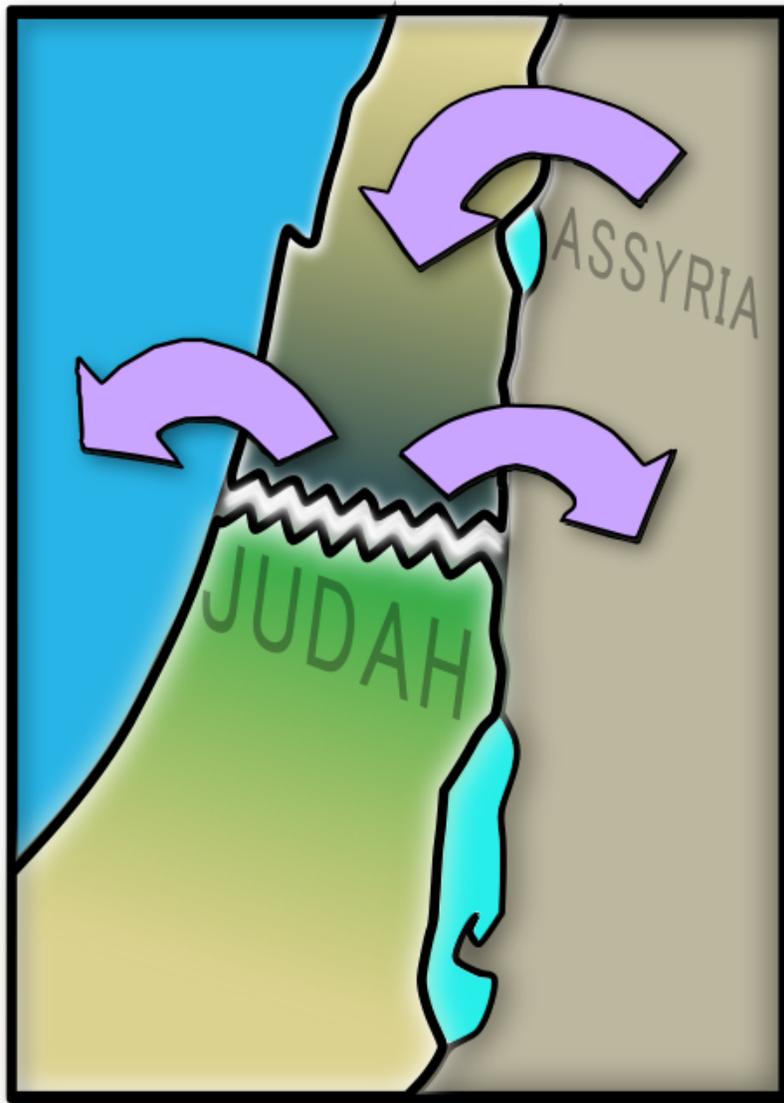


北王国滅亡

預言者の警告は無視され、アッシリアが襲来する



列王記下 7-17章

第15課：北王国滅亡

預言者の警告は無視され、アッシリアが襲来する

聖書

書	章	著者	年
列王記第二書	7-17	不明	紀元前550年

概要

列王記下7章から17章にかけて、神は戦いにおいてイスラエルとユダを助けられた。しかし民は繰り返し神に背き、不従順を続けた。その結果、イスラエルはついにアッシリアに征服され、王国は滅びた。

レジュメ

衰退の循環

- 神はエリシャの預言と予期せぬ手段によって、飢饉と包囲からサマリアを救われた - 列下 7
- エリシャは将来の混乱を予言する。外国の脅威が増すにつれ、王たちは興亡を繰り返す - 列下 8
- イェフはバアル崇拜とアハブの家系を断つが、偶像崇拜を続け、不完全な忠誠しか示さなかった - 列下 9-10
- 政治的混乱と頻繁な暗殺が両王国を不安定化させる - II 列 15:8-31
- 表面的な改革では道徳的衰退を止められず、神をなだめることもできなかった - 列下 14:3-4, 15:4, 16:2-4

北王国（イスラエル）の滅亡

- ホセアがアッシリアへの貢ぎ物を止め、エジプトに助けを求めたため、アッシリアが侵攻し、サマリアは陥落した - 列下 17:1-6
- 民は神の命令を無視し、偶像を礼拝し、預言者を拒んだため、神の裁きが下った - 列下 17:7-18
- 北王国イスラエルはアッシリアに征服され、イスラエル人は捕囚の民となった - 列下 17:1-23
- 偶像崇拜と神の命令への不従順が捕囚の理由として明確に示されている - 列下 17:7-23

再定住と宗教の混乱

- アッシリアは異邦の民をその地に再定住させた。
- 新たな住民は、祭司がイスラエルの神について教えるまで困難に直面した - 列下 17:24-28
- 彼らは主への礼拝と異教の慣習を混同し、歪んだ宗教を生み出した - 列下 17:29-41

王名	説明	聖書箇所
アマツヤ（南）	主の目にかなう正しいことを行うが、高き所を取り除かなかった	列下 14:1-4
	塩の谷でエドムを打ち、セラを奪う	列下 14:7
	イスラエルのヨアシュに挑み、敗北してエルサレムが占領される	列下 14:8-14
ヤロブアム2世（北）	イスラエルを治め、領土を拡大するが、ヤロブアム1世の罪を続ける	列下 14:23-29
アザルヤ（北）	繁栄するが高き所を取り除かず、ツアラアトにかかる	列下 15:1-7
複数の王（北）	ゼカリヤ、シャルム、メナヘム、ベカヤ、ベカが治めるが、暗殺と争いが続く	列下 15:8-31
ヨタム（南）	主の目にかなう正しいことを行うが、高き所を取り除かなかった	列下 15:32-38
アハズ（南）	偶像崇拜を行い、アラムとイスラエルに対抗するためアッシリアに助けを求める	列下 16:1-20
	神殿の銀と金をアッシリア王ティグラテ・ピレセル3世に送って援助を求める	列下 16:7-8
ホセア（北）	治めるがアッシリアの属国となり、後に反逆する	列下 17:1-4

要点

1. 絶望の時代にあっても、神はサマリアを救い、その御力と憐れみを現された。
2. 熱意をもって始めた指導者たちも、神に完全には従わず、偶像礼拝と異国の影響を容認し続けた。
3. 何世紀にもわたる預言者たちの警告と悔い改めへの呼びかけの末、神の契約を拒んだ結果がついに明らかとなった